

事例13 思考展開シート

(1) 疾病や薬の副作用等の影響は考えられますか?

(2) 身体的痛み、便秘・不眠・空腹等による苦痛の影響は考えられますか?

- ・とても早食い。
- ・食後席を立ち、他入居者の食事を食べてしまう。
- ・心配ごとや顔の表情で困っている時は、右手をお腹の所に当てている。

(3) 悲しみ・怒り・寂しさ等の精神的苦痛、また本人の性格等の影響は考えられますか?

- ・子供に対する愛情の記憶が、他入居者への過剰な関わりとなっている?

(4) 音・光・味・臭い・寒暖等感覚的な苦痛を与える刺激の影響は考えられますか?

- ・非常に寒がり。
- ・日中からフロアのカーテンを閉めて歩いている。

(5) 家族・介護者など周囲からの過剰、あるいは少なすぎる関わりの影響は考えられますか?

- ・様々なことをして、他入居者から怒られてしまう。
- ・職員が制止の言葉を掛ける。
その為の影響は考えられる。
- ・家族の面会が少ないが、来た時には一緒に座って話をしている。
- ・落ち着いている。

【質問】

家族との面会時は落ちついているのですね。
帰った後の行動で気になることはありますか?

【回答】

・帰った後、特に気になる言動はありません。しばらく同じ場所に座っていることはあります。

本人の言葉や状態
ワークシートC- に書いた、本人の言葉や行動を書き出し、関連のありそうな情報を整理してみましょう。

- ・「さあ行きましょう。」「帰りますよ。」と言って他入居者の車椅子を押す。
- ・夜間起きた時に居室が分からなくなる。
- ・居室の窓、エレベーターの扉を開けようとする。
- ・「先生何しましょう。」と聞く。
- ・子どものことを心配している様な言動がある。
- ・色々な事が気になる。歩き回る。
- ・トイレ以外の場所での排便後の後始末をどうしたらいいのか。

(6) 障害程度・能力の発揮に対して、住まい・器具・物品等物的環境による影響は考えられますか?

- ・必要以上に衣類を持ち歩くため、衣類は居室外にて管理している。
- ・居室内は殺風景である。

(7) 要望・障害程度・能力の発揮と、アクティビティー(活動)とのズレによる影響は考えられますか?

- ・出来ることは多いが、何もしていない時間が多い。

【質問】

歌がお好きなようですが、他の入居者と一緒にアクティビティー活動に参加する時のAさんの様子について教えてください。

【回答】

・歌のときは微笑みながら手拍子をしています。午前中の体操は、毎日元気に参加しています。近くにいる他の入居者の方には、「やりなさいね。」等声をかけるときもあります。洗濯物をたたむときは、しわを丁寧に伸ばしながらたたんでくれます。食事の準備(お箸を配る、ご飯やお味噌汁をよそう)などを手伝ってもらったときも、よい表情をしています。基本的に何をしても一人が良いようです。職員が、他の入居者の方との間をとり持ちますが、入居者の方には関心がなく、職員との関わりの方が嬉しいようです。

(8) 生活歴・価値観等に基づいた暮らし方と、現状とのズレによる影響は考えられますか?

- ・気になることが多くあり、出来ることやしてあげたいと思うことがたくさんあるのに、周囲と調和しないことが多い。
- ・子どものこと、家のことが心配であるのに、家に帰れないという不安が他者に向けられるのではないか。

【質問】

どんな時にどのような行動をとることが多いのでしょうか。
その際、お世話は、どのような方に多く関わろうとしていますか。
周囲の入居者の方は、利用者に対しどのような対応をとることが多いのでしょうか。

【回答】

・夕食後に車いすの入居者を押して行こうとします。深夜2時から早朝にトイレに覚醒した時に、他の入居者のベッドにもぐりこんだり、話しかけて起こしたりします。Aさんに居室に入って来られて怒る方もいます。衣類等を持って行かれ、取り返そうとする方もいます。(先日喧嘩になりました)